学校番号	３１７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新探求古典Ｂ古文編　漢文編（桐原書店）						
副教材等	古典の演習２（啓隆社）、Key&Point 古文単語 330（いいずな書店）、新修古典文法（京都書房）、新修古典文法ドリル編（京都書房）、新国語便覧（第一学習社）、漢文必携（桐原書店）、過程の演習新国語問題集アシスト第 21 集古文編（京都書房）、「体系古典文法八訂版」（京都書房）、「ビジュアルカラー国語便覧」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業にしっかりと取り組みましょう。特に、授業プリントの記述は各自が自分の考えた答えを決められた時間内に書き上げるようにしましょう。提示されたものを機械的に書き写すだけでは理解が深まりません。
・小テストは毎回必ず勉強し、確実に点が取れるようにしてください。間違えた問題は各自で復習するように。
・提出物は不備のない状態で、期限を守って必ず提出すること。
・本文は声に出して音読しましょう。

2　学習の到達目標

・古典を読む能力を養う。
・古典を読むことを通して、伝統と文化に対する理解を深め、思考力、感性や情緒をはぐくむ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。			古典を読んで、内容を構成や展開、あるいは思想や感情に即して的確に捉えている。	古典常識、文法、語彙の知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 授業プリントの記述の点検 授業での発言 提出物等			行動の観察 授業プリントの記述の点検 授業での発言 小テスト 定期考査等	授業での発言 小テスト 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元・教材名・学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d	e		
1学期	説話:古今著聞集「刑部卿敦兼と北の方」 日記:和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中を」 物語:源氏物語「藤壺の里下がり」	○			○		a:物語等を読み、文章中の表現について考察することができる。 d: 構成や展開、あるいは思想や感情に即して内容を的確に捉えている。	ad:行動の観察、授業プリントの記述の点検、定期考査
	漢文:逸話「不顧後患」				○		d:基本的な句形を理解し、1,2 年次に学習したことが定着している。	d:行動の観察、定期考査
2学期	物語:源氏物語「柏木と女三宮」 大鏡「菅原道真の左遷」 評論:無名草子「小野小町」 古今和歌集仮名序「やまと歌は」	○			○		a:登場人物の心情や、物語の歴史的背景を理解している。 d:古文で評論を読み、内容を理解することができる。	ad:行動の観察、授業プリントの点検、定期考査
	漢文：「荊軻」				○	○	d:基本的な句形を理解し、1,2 年次に学習したことが定着している。 e：史記についての知識が身についている。	de:行動の観察、授業プリントの点検
3学期	日記:蜻蛉日記「嘆きつつひとり寝る夜」	○			○		a:筆者の心情を読み味わい、理解している。 d：構成や展開を正確に捉えることができる。	ad:行動の観察、授業プリントの点検、定期考査
	漢文:「売柑者言」」				○		d:漢文学習のまとめとして、用法及び文の構造を正しく理解することができる。	d：:行動の観察、授業プリントの点検、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。